

(27) マーガレット

ア 各病害虫の防除

青枯病、萎凋病（フザリウム菌）

ハスモンヨトウ

ア 各病虫害の防除

【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病虫害)

青枯病、萎凋病（フザリウム菌）

(耕種的・物理的防除)

- 1 連作しない。
- 2 青枯病は、ナス、トマト、タバコ、ゴマ、キクなどの青枯病と病原菌が同種であるので、これらは輪作作物には入れない。
- 3 発病株からはさし芽を採らない。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#) [【青枯病】](#)・[【萎凋病】](#)

- 1 薬剤により土壌消毒を行う。([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)

ハスモンヨトウ

・ [共通防除の章のハスモンヨトウの防除の項](#)を参照する。

(耕種的・物理的防除)

- 1 早期発見に努め、卵塊や分散前の若齢幼虫を捕殺する。
- 2 施設などでは開口部に防虫網を設置し、成虫の侵入を防止する。
- 3 交信かく乱剤を活用した防除を行う。
- 4 施設栽培においては、栽培終了後に密閉処理を行う。
- 5 作物残さを適切に処分する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 2 交信かく乱剤を活用する。
- 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。